

V. 特記事項

1. 学内禁煙などによる健康経営の推進

本学では改正健康増進法の全面施行に合わせ、令和 2（2020）年 4 月に学長より学内禁煙の宣言のもと卒煙プロジェクト委員会が設置され、啓蒙キャンペーンを実施するなど段階的な禁煙強化に取り組んだ。具体的には従来の喫煙所を廃止し、代わりに屋外に卒煙スペースを設けて対応した。[資料 V-1 卒煙に向けた提案書]

さらに、令和 3（2021）年 4 月からは敷地内の全面禁煙を宣言し、卒煙スペースも廃止し、完全な禁煙に踏み込んだ。同時に、喫煙者がキャンパス（敷地）外で喫煙する機会が増え、ポイ捨て等のマナー違反等を避けるため、周辺地域での卒煙指導を行い、鶴見区役所とも共同で卒煙キャンペーンを展開した。喫煙の害を繰り返し説明することで、一定の効果は確認できたものの、喫煙学生数は一進一退の状況にあるため、今後に向けた検討を進めている。[資料 V2 卒煙パンフレット]

健康診断結果に基づく運動習慣の奨励、ストレスチェックの実施などにより教職員の健康増進に積極的に取り組んだ。その結果、令和 3（2021）年 9 月には「健康経営宣言」を制定するに至った。また、令和 4（2022）年には横浜市より 3 年間の「健康経営認証クラス AA」を取得、令和 6（2024）年 2 月にはさらに 3 年間のクラス AA 認証を取得している。認証取得の際には横浜市から「高血圧、高血糖、脂質異常の生活習慣病の割合を健康課題ととらえ、健康に配慮した食事への金銭補助」などが評価された。禁煙導入時には学生・教職員の喫煙者比率は 10%強であったが、急速に低下していると推計される。[資料 V-3 横浜健康経営認証 認証通知書]

2. 高大連携事業（横浜学園高等学校、栃木県立那須高等学校）

本学では、令和 2（2020）年度から横浜学園高等学校、令和 5（2023）年度から栃木県立那須高等学校と高大連携協定を結び、本学教員による出前授業を実施している。この事業では、高校における専門的な学びの機会を提供するとともに、生徒が本学への志願者や出願者につながることを目的に、継続して実施していくことを考えている。

横浜学園では、SDGs をテーマに横浜市や企業の取り組みを紹介し、生徒はグループワークをとおして意見を交わし、考えをまとめ発表し、自分ごととして考える機会として 2 日間の授業を実施している。那須高校では、講義とグループワークを組み合わせ全 4 回、観光ビジネスをテーマに授業を実施している。第 1 回目の講義で観光についての基礎知識を説明し、第 2 回は観光資源を出し合うグループワーク、第 3 回は実際に観光資源を調べるフィールドワーク、4 回目に那須の魅力を紹介する発表会という構成で実施している。

3. 松本記念文庫

昭和 62（1987）年 9 月に開設した「松本記念文庫」とは、国内外の社史、経営史を中心に収集したコレクションである。発足当初は洋書のみを収集対象としていたが、現在は更なる充実を目指して国内の社史まで対象を広げて収集を続けている。令和 5（2023）年度時点での収録数は 7,568 冊。内訳は、和書 4,142 冊、洋書 3,392 冊、視聴覚資料 34 点となっている。これらの資料は、商学の発展のため、学内外の研究者の利用に供している。